

# 令和6年度 男女共同参画とジェンダーギャップに関する県民意識調査

## アンケート調査 回答方法

このアンケート調査は、封筒のあて名のご本人様にご回答いただきますようお願いいたします。ただし、ご本人様による回答が難しい場合は、ご本人様に代わってご家族の方等がご自身の立場でご回答いただけますようお願いいたします。

ご回答は、「調査票(郵送)」による回答か「専用ウェブサイトのいずれかの方法」でお願いいたします。

回答締切日：令和6年 8月 30日(金)

### ○調査票(郵送)による回答

- ・調査票(この冊子)に、えんぴつやボールペンなどで、直接回答をご記入ください。
- ・回答は、あてはまる番号を〇で囲んでください。
- ・質問によっては、一部の方だけに回答をお願いする場合があるのでご注意ください。
- ・ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、回答締切日までにポストか郵便局にお出しください。(調査票及び返信用封筒に、お名前やご住所は記入不要です。)

### ○専用ウェブサイトによる回答

- ・パソコン、タブレット、スマートフォンで、回答することができます。
- ・専用ウェブサイトでご回答いただいた方は、調査票(この冊子)の返送は不要です。

- ① URLを直接ご入力、または二次元コードからアクセスしてください。  
専用ウェブサイトURL

<https://www.c-pass.jp/miegender>



- ② ログイン画面が表示されたら、以下のID、パスワードを入力してください。

あなたのID : XXXXX

パスワード : XXXXX

※ID、パスワードは、「調査票(郵送)」による回答と「専用ウェブサイトによる回答」の重複を防ぐものであり、個人を特定するものではありません。

- ③ アンケート画面が表示されます。回答締切日までにご回答ください。

## 1. 性別役割分担、男女共同参画について

問1 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

1. 同感する(=「男は仕事、女は家庭」という考え方に賛成)
2. どちらかといえば同感する
3. どちらかといえば同感しない
4. 同感しない(=「男は仕事、女は家庭」という考え方に反対)
5. わからない

問2 あなたは、次におけるA~Hの分野において、男女の地位が平等になっていると思いますか。

(A~Hのそれぞれについて、○は1つ)

	男性の地位が優越している	優越性のどちらかといえば男性	平等である	優越性のどちらかといえば女性	女性の地位が優越している	わからない
A 家庭	1	2	3	4	5	6
B 職場	1	2	3	4	5	6
C 地域(PTAや町内会など)	1	2	3	4	5	6
D 学校	1	2	3	4	5	6
E 社会通念や風潮	1	2	3	4	5	6
F 法律や制度	1	2	3	4	5	6
G 政治(政策決定)	1	2	3	4	5	6
H 社会全体	1	2	3	4	5	6

問3 あなたは、次におけるA~Eの分野において、自身の周りで「男女の性別による役割分担」を感じますか。

(A~Eのそれぞれについて、○は1つ)

	感じている	やや感じている	いささかも感じない	あまり感じない	感じない	わからない
A 家庭	1	2	3	4	5	6
B 職場	1	2	3	4	5	6
C 地域(PTAや町内会など)	1	2	3	4	5	6
D 学校	1	2	3	4	5	6
E 政治(政策決定)	1	2	3	4	5	6

問3でA～Eのうち、1つでも1、2に○印をつけた方におたずねします。

問4 あなたは、A～Eの分野における「男女の性別による役割分担」についてどのように考えますか。

(A～Eのそれぞれについて、○は1つ)

	納得している	納得している	どちらでもない	納得していない	納得していない	わからない
A 家庭	1	2	3	4	5	6
B 職場	1	2	3	4	5	6
C 地域 (PTAや町内会など)	1	2	3	4	5	6
D 学校	1	2	3	4	5	6
E 政治 (政策決定)	1	2	3	4	5	6

問3でA～Cのうち、1つでも1、2に○印をつけた方におたずねします。

問5 あなたは、次におけるA～Cの分野において、「男女の性別による役割分担」があることで、自身の結婚や子どもを持つことのさまたげになったと感じたことがありますか。

(A～Cのそれぞれについて、○は1つ)

	感じましたことがある	感や感じましたことがある	感あまり感じましたことはない	感じましたことはない	わからない
A 家庭	1	2	3	4	5
B 職場	1	2	3	4	5
C 地域 (PTAや町内会など)	1	2	3	4	5

すべての方におたずねします。

問6 あなたが、もし次のような役割に就くことや立候補することを打診された場合、どうしますか。

(A～Dのそれぞれについて、○は1つ)

	引き受ける	分知や能力のある引き受ける	引時間に余裕があれば	相談してから決める	断る	わからない
A PTA、町内会などの役員	1	2	3	4	5	6
B 職場の管理職や役員	1	2	3	4	5	6
C 県や市町の審議会等の委員	1	2	3	4	5	6
D 地方議会議員、国会議員	1	2	3	4	5	6

問7 あなたの家族や親しい友人などの身近な女性が、もし次のような役割に就くことや立候補することを打診された場合、どうしますか。

(A～Dのそれぞれについて、○は1つ)

	動引める引き受けることを	分知や能力のある動引める受け受ける	動引時間に余裕があれば	相談してから決めるように動引める	断るよう動引める	わからない
A PTA、町内会などの役員	1	2	3	4	5	6
B 職場の管理職や役員	1	2	3	4	5	6
C 県や市町の審議会等の委員	1	2	3	4	5	6
D 地方議会議員、国会議員	1	2	3	4	5	6

問8 生活の中で、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」、「地域活動・学習・趣味・付き合いなど」の優先度について、あなたの希望に最も近いものをお答えください。(○は1つだけ)。

1. 「仕事」を優先
2. 「家庭生活」を優先
3. 「地域・個人の生活」を優先
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
8. わからない

問9 今後、男性が女性とともに家事、育児、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 女性の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める
2. 男性は仕事中心という社会全体の風潮を改める
3. 男性の仕事中心の生き方、考え方を改める
4. 妻が夫に経済力や出世を求めない
5. 育児や介護に関する休暇、休業制度や短時間勤務制度を利用しやすくする
6. 男性の男女共同参画に対する関心を高める
7. 夫婦の間で家事などの負担をどのように十分に話し合う
8. 男性が家事などに参加することにに対する女性の抵抗感をなくす
9. 男性が家事などに参加することにに対する男性自身の抵抗感をなくす
10. 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設ける
11. 家事などを男女で分担するようしつけや育て方をする
12. わからない
13. その他に必要だと思うことがあればお書きください

現在、配偶者（事実婚を含む）がいる方におたずねします。（問10、11にお答えください。）  
 問10 あなたの家庭では、A～Dのそれぞれについて、主に誰が分担していますか。  
 （A～Dのそれぞれについて、○は1つ）

	ほとんど妻がしている	妻が中心だが夫も行う	平等に分担している	夫が中心だが妻も行う	ほとんど夫がしている	夫婦ともほとんどしない	その他
A 家事	1	2	3	4	5	6	7
B 看護・介護	1	2	3	4	5	6	7
C 育児	1	2	3	4	5	6	7
D PTAや地域の行事参加	1	2	3	4	5	6	7

問11 あなたの家庭での家事や育児等について、現在の役割分担となった理由は何だと思いますか。  
 （○はいくつでも）

- |                          |                         |
|--------------------------|-------------------------|
| 1.特に決めたわけではないがなんとなく      | 2.話し合いて分担を決めたから         |
| 3.夫の仕事が忙しいから             | 4.妻の仕事が忙しいから            |
| 5.夫の家事・育児スキルが低いから        | 6.妻の家事・育児スキルが低いから       |
| 7.夫が家事・育児を好きだから          | 8.妻が家事・育児を好きだから         |
| 9.家事や育児は夫がやるものだと思うから     | 10.家事や育児は妻がやるものだと思うから   |
| 11.夫のほうか収入が多いから          | 12.妻のほうか収入が多いから         |
| 13.夫の育った家庭環境や夫の親の考え方の影響  | 14.妻の育った家庭環境や妻の親の考え方の影響 |
| 15.家事や育児は平等に分担するべきだと思うから | 16.その他                  |

すべての方におたずねします。

問12 男女共同参画を推進していくために、今後、県はどのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。（○は3つまで）

- |   |
|---|
| 1.男女共同参画社会の実現をめざした法律・条例・制度の制定や見直しを行う        |
| 2.女性を政策決定の場に積極的に登用する                        |
| 3.あらゆる分野で女性リーダーを育成する                        |
| 4.職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底を行う                |
| 5.女性の職業教育や職業訓練を充実させる                        |
| 6.保育・介護の施設やサービスを充実させる                       |
| 7.学校教育や社会教育等の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する  |
| 8.女性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などを充実する          |
| 9.男性に対する意識啓発や研修を充実する                        |
| 10.広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてのPRを充実する |
| 11.三重県男女共同参画センター「コンプレクミエ」の機能を充実する           |
| 12.わからない                                    |
| 13.その他にご意見やご提案があればお書きください                   |

## 2.働く場におけるジェンダーギャップについて

現在、職業をお持ちの方（産前・産後休暇、育児・介護休業等を取得中も含む）におたずねします。（問13から問19までお答えください。）  
 それ以外のの方は、問20へお進みください。

問13 あなたの働いているところは、女性と男性は平等だと思いますか。（○は1つ）

- 1.平等だと思う 2.女性のほうが優遇されていると思う 3.男性のほうが優遇されていると思う

問13で2、3に○印をつけた方におたずねします。

問14 あなたの働いているところで男女が平等だと思わないのは、どのようなことですか。（○はいくつでも）

- |                   |                           |
|-------------------|---------------------------|
| 1.採用時の条件          | 2.賃金                      |
| 3.昇進・昇格           | 4.能力評価                    |
| 5.希望の職種につく機会      | 6.結婚後や出産後も仕事を続けることについての風土 |
| 7.定年まで勤めることに対する風土 | 8.教育・訓練を受ける機会             |
| 9.その他（            | 10.わからない                  |

問15 あなたは、現在の職場で昇進やキャリアアップをしたいと思いますか。（○は1つ）

- 1.したい 2.したくない 3.わからない

問15で2に○印をつけた方におたずねします。

問16 その理由は何ですか。（○はいくつでも）

- |                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| 1.責任が重くなるのが嫌だから    | 2.時間外労働が増えるから             |
| 3.自分の能力に自信がないから    | 4.いつまでもこの会社で働き続けるつもりがないから |
| 5.同僚からなだめられるのが嫌だから | 6.転動があるから                 |
| 7.仕事と家庭の両立が困難だから   | 8.今のままで不満はないから            |
| 9.リットがないから         | 10.その他（                   |

問17 あなたは、転職をしたいと思いますか。（○は1つ）

- 1.したい 2.したくない 3.わからない

問17で1に○印をつけた方におたずねします。

問18 あなたが転職したい理由は何ですか。（○は3つまで）

- |                          |                 |
|--------------------------|-----------------|
| 1.給与が低い、昇給が見込めない         | 2.キャリアアップがしたい   |
| 3.労働時間に不満（残業が多い/休日出勤がある） | 4.職場の人間関係が悪い    |
| 5.社内の雰囲気になじめない           | 6.会社の将来性が不安     |
| 7.仕事と家庭の両立（育児、介護等）が困難    | 8.他の分野、仕事を希望    |
| 9.福利厚生（休暇がとりづらい等）        | 10.やりがいのある仕事を希望 |
| 11.その他（                  |                 |

問19 現在の職業を選んだ理由は何か。（○は1つ）

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1.仕事内容            | 2.給与・賞与などの待遇が高い     |
| 3.興味のある業界         | 4.労働時間や休日などの勤務条件が良い |
| 5.これまでの仕事の経験が活かせる | 6.自分のスキルや資格が活かせる    |
| 7.業界の安定性・将来性      | 8.福利厚生や手当が充実している    |
| 9.専門的なスキルや能力が身に付く | 10.通勤時間が短い、通勤が便利    |
| 11.その他            |                     |

現在の就業形態が「非正規(フルタイム、短時間)」、「派遣社員・契約社員」の方におたずねします。(問20、21にお答えください。)

問20 現在の就業形態を選択した理由は何ですか。(○は3つまで)

1. 正規従業員として働ける会社が無かった
2. 体力的に正規従業員として働けなかった
3. 専門的な資格・技術を活かせる
4. より収入の多い仕事に従事したかった
5. 自分の都合の良い時間に働ける
6. 勤務時間や労働日数が短い
7. 簡単な仕事で責任も少ない
8. 年収調整や労働時間の調整をしたい
9. 家計の補助、学費等を得たい
10. 自分で自由に使えるお金を得たい
11. 通勤時間が短い
12. 組織に縛られなくてよかった
13. 家庭の事情(家事・育児・介護等)や他の活動(趣味等)と両立しやすい
14. その他( )

問21 今後の働き方についての希望をお答えください。(○は1つ)

1. 他の就業形態(正規従業員)に変わりたい
2. 他の就業形態(正規従業員以外)に変わりたい
3. 独立して事業を始めたい
4. 現在の就業形態を続けたい
5. 仕事を辞めたい
6. その他

これまでに離職したことがある方におたずねします。

それ以外の方は、問23へお進みください。

問22 あなたが過去に離職した理由をお答えください。(○は3つまで)

1. 結婚
2. 出産
3. 育児
4. 介護
5. 職場の人間関係
6. 配偶者の転勤
7. 自分・家族の健康上の理由
8. 家族の理解や協力が得られない
9. 雇用整理、会社の倒産
10. 定年退職
11. その他( )

現在、職業をお持ちでない方におたずねします。(問23、24にお答えください。)

それ以外の方は、問25へお進みください。

問23 今後、働きたいと思えますか。(○は1つ)

1. 今すぐにも働きたい
2. 子育てが落ち着いたら働きたい
3. 子育て以外の抱えている課題が解決したら働きたい
4. 学業を卒業したら働きたい
5. 働きたいと思わない

問24 どのような形で働きたいとお考えですか。(○は1つ)

1. 正規従業員
2. 非正規従業員(フルタイム)
3. 非正規従業員(短時間)
4. 派遣社員・契約社員
5. 自由業、自営業(家族従業者を含む)
6. その他

現在職業をお持ちの方、またはこれまでに職業を持ったことがある方におたずねします。

それ以外の方は、問26へお進みください。

問25 あなたが働く(働いた)のはどのような理由ですか。(○は2つまで)

1. 主たる収入として生計を維持するため
2. 従たる収入として家計の足しにするため
3. 教育資金を得るため
4. 将来に備えて貯蓄するため
5. 自分で自由に使えるお金を得るため
6. 生きがいを得るため
7. 能力・技能・資格を活かすため
8. 社会に貢献するため
9. 働くのが当然だから
10. その他( )

すべての方におたずねします。

問26 一般的に女性が働くことについて、あなたはどのお考えですか。(○は1つ)

1. 女性は働かない方がいい
2. 結婚するまでは働く方がいい
3. 子どもができてからは、働く方がいい
4. 子どもができては、産前・産後休暇や育児休業等を利用しながら、ずっと働き続ける方がいい
5. 子どもができたら一旦退職し、子育てが落ち着いたら再び働く方がいい
6. その他( )
7. わからない

問27 問26の回答内容について、あなたが影響を受けた人や物は何ですか。(○は3つまで)

1. 親
2. 配偶者や配偶者の家族
3. 友人や知人
4. 小中学校
5. 高校・大学・専門学校
6. 地域(自治会やPTAなど)
7. 職場
8. 新聞・雑誌・テレビなどのマスメディア
9. SNSなどのソーシャルメディア
10. その他( )
11. 特に影響を受けたものはない
12. わからない

問28 問26で1から3のいずれかに○印をつけた方におたずねします。

問29 その理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 女性は家庭を守るべきだと思う
2. 子どもは母親が家で養育した方がいいと思う
3. 保育料などを払うより、母親が家で子どもを養育した方が合理的だと思う
4. 女性も経済力をもちた方がいいと思う
5. 夫婦で働いた方が多くの収入を得られる
6. 仕事と家庭の両立支援が十分ではないと思う
7. 働き続けるのは大変そう
8. その他( )
9. わからない

問26で4、5のいずれかに○印をつけた方におたずねします。

問29 その理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 女性は家庭を守るべきだと思う
2. 子どもは母親が家で養育した方がいいと思う
3. 保育料などを払うより、母親が家で子どもを養育した方が合理的だと思う
4. 仕事と家庭の両立支援が十分ではないと思う
5. 働くことを通じて自己実現が図れると思う
6. 女性も経済力をもちた方がいいと思う
7. 夫婦で働いた方が多くの収入を得られる
8. 女性が能力を發揮しないのはもったいないと思う
9. 少子高齢化で働き手が減少しているので、女性も働いた方がいいと思う
10. その他( )
11. わからない

問26で5に○印をつけた方におたずねします。

問30 もし現在より、仕事と子育ての両立がしやすい環境なら、どのようにお考えですか。(○は1つ)

1. 子どもができては、産前・産後休暇や育児休業等を利用しながら、ずっと働き続ける方がいい
2. 子どもができたら一旦退職し、子育てが落ち着いたら再び働く方がいい
3. わからない

すべての方におたすねします。

問31 あなたは、現在の社会は女性が働きやすい状況にあると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. そう思わない
3. わからない

問31で2に○印をつけた方におたすねします。

問32 そう思わない理由は何ですか。(○は3つまで)

- |   |   |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 働く場が限られている</li> <li>3. 労働条件が整っていない</li> <li>5. 昇進・給与等に男女の差別的扱いがある</li> <li>7. 男は仕事、女は家庭という社会通念がある</li> <li>9. 職場の理解、協力が得にくい</li> <li>10. その他 ( )</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 能力発揮の場が少ない</li> <li>4. 保育施設が整備されていない</li> <li>6. 結婚・出産退職の慣行がある</li> <li>8. 家族の理解、協力が得にくい</li> </ol> |
|---|---|

すべての方におたすねします。

問33 あなたは、女性が出産等を理由に離職せず同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思いますか。(○は3つまで)

1. 保育所や学童保育など、子どもを預けられる環境の整備
2. 介護支援サービスの充実
3. 家事・育児支援サービスの充実
4. 男性の家事・育児への参加、参画
5. 女性が働き続けることへの家族の理解や意識改革
6. 女性が働き続けることへの職場の理解や意識改革
7. 働き続けることへの女性自身の意識改革
8. 男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革
9. 職場における育児・介護との両立支援制度の充実
10. 短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入
11. 育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止
12. その他 ( )
13. わからない

問34 あなたは、政治・経済・地域社会などの各分野で女性のリーダーを増やすことに障害となるものは何だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 女性がリーダーになる機会が少ない
2. 女性自身がリーダーになることを希望しない
3. 女性の同僚からのサポートが不十分
4. 上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しない
5. 長時間労働の改善が十分ではない
6. 企業などにおいては、管理職になると広域異動が増える
7. 保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではない
8. 保育・介護の支援などの公的サービスの充実が十分ではない
9. その他 ( )
10. わからない

問35 あなた自身や周囲で、職場でA～Cのハラスメントを受けたことや見聞きしたことはありませんか。

(A～Cのそれぞれについて、○は1つ)

	ある	ない	わからない
A 上司・同僚からのセクハラ	1	2	3
B セクハラ	1	2	3
C SOGJハラ	1	2	3

※セクハラ…働く女性の妊娠・出産・育児を理由とする、不当な雇止め、解雇等や、精神・肉体的な嫌がらせ  
※セクハラ…働く男性が育児休暇や育児目的の短時間勤務制度等を活用し育児参画することを理由とする、不当な雇止め・解雇等や、精神・肉体的な嫌がらせ

※SOGJハラ…性的指向や性自認を理由とする、不当な雇止め・解雇等や、精神・肉体的な嫌がらせ

### 3. DV(配偶者や恋人などからの暴力)について

問36 あなたは、配偶者や恋人から、どのような暴力を受けたことがありますか。(○はいくつでも)

1. 殴る、蹴るなど
2. ごたごたの暴力(のしりの言葉)、無視など
3. 物の破壊(部屋の物を壊して脅かすなど)など
4. セクハラの強要、避妊の非協力など
5. 外出の制限、友人・実家との付き合いの禁止など
6. 生活費を入れない、極度に少額しか渡さない、働くことへの妨害など
7. 経費はしない
8. その他 ( )

問36で1から6のいずれかに○印をつけた方におたすねします。

問37 配偶者や恋人からの暴力を受けた時に、誰に、どこに相談・連絡しましたか。(○はいくつでも)

- |   |  |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 友人・知人</li> <li>3. 警察</li> <li>5. 三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」</li> <li>7. 県や市町の相談窓口</li> <li>9. その他 ( )</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 家族や親戚</li> <li>4. 三重県配偶者暴力相談支援センター(三重県女性相談支援センター)</li> <li>6. みえ性暴力被害者支援センター「よりこ」</li> <li>8. 相談・連絡しなかった、できなかった</li> </ol> |
|---|--|

問38 配偶者や恋人からの暴力を受けた時に相談できる機関や関係者のうち、知っているものはどれですか。(○はいくつでも)

- |   |   |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 警察</li> <li>3. 三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」</li> <li>5. 人権センターなどの県の機関</li> <li>7. 民間支援団体、医師、教員その他関係者</li> <li>9. 相談窓口として知っているところはない</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 三重県配偶者暴力相談支援センター(三重県女性相談支援センター)</li> <li>4. みえ性暴力被害者支援センター「よりこ」</li> <li>6. 市役所、町役場の相談窓口</li> <li>8. 女性相談員、民生委員、人権擁護委員</li> </ol> |
|---|---|

#### 4. 性の多様性について

問39 「好きになる相手、性的対象が誰であるか」、「自分の性別をどう認識するか」など、性のあり方は多様であり、一人ひとり違います。  
あなたは、今まで自分の性別に悩んだことはありますか。(〇は1つ)

1. ある 2. ない

問40 性の多様性に関する悩みについて相談できる機関や関係者のうち、知っているものはどれですか。(〇はいつても)

1. みえにいろ相談 2. よりそいホットライン  
3. 三重県人権センター 4. 法務局人権相談ダイヤル  
5. 市役所、町役場の相談窓口 6. 労働局等の総合労働相談センター  
7. 民間支援団体、医師、教員その他関係者 8. 相談窓口として知っているところはない  
9. その他( )

問41 あなたは、次の言葉をどの程度知っていますか。

(A~Dのそれぞれについて、〇は1つ)

	言葉の内容も知らない	言葉の内容は知っているが、内容は知らない	言葉の内容も知っている
A LGBTQ	1	2	3
B 性的指向	1	2	3
C 性自認	1	2	3
D SOGI	1	2	3

#### 5. あなたご自身のことについておたずねします

F1 あなたの性別をお答えください。(ご自身が認識する性をお答えください。)(〇は1つ)

1. 男性 2. 女性 3. どちらともいえない、または答えたくない

F2 あなたの年齢をお答えください。(令和6年9月1日現在)(〇は1つ)

1. 10 歳代 2. 20 歳代 3. 30 歳代 4. 40 歳代  
5. 50 歳代 6. 60 歳代 7. 70 歳代 8. 80 歳代以上

F3 あなたの就業形態をお答えください。(〇は1つ)

(産前・産後休暇、育児・介護休業等取得中の方も働いているものとお考えください。)

1. 正規従業員 2. 非正規従業員(フルタイム) 3. 非正規従業員(短時間)  
4. 派遣社員・契約社員 5. 自由業、自営業(家族従業員を含む) 6. 会社などの役員  
7. 家事専業・家事手伝い 8. 学生 9. 働いていない  
10. その他

F4 あなたが働いている業種をお答えください。(〇は1つ)

※仕事先が複数ある場合は、主に働いているところ(時間が多いところ)を選んでお答えください。

1. 農業・林業・漁業	2. 鉱業、採石業、砂利採取業	3. 建設業
4. 製造業	5. 電気・ガス・熱供給・水道業	6. 情報通信業
7. 運輸業、郵便業	8. 卸売業	9. 金融業、保険業
10. 不動産業、物品賃貸業	11. 学術研究、専門・技術サービス業	12. 宿泊業、飲食サービス業
13. 生活関連サービス業、娯楽業	14. 教育、学習支援業	15. 医療・福祉
16. 他に分類されないサービス業	17. 公務	18. その他
19. 働いていない		

F5 あなたは結婚していますか。(〇は1つ)

1. 既婚(事実婚を含む) 2. 離別または死別 3. 未婚

F5で1に〇印をつけた方におたずねします。

F6 あなたの配偶者の就業形態をお答えください。(〇は1つ)

(産前・産後休暇、育児・介護休業等取得中の方も働いているものとお考えください。)

1. 正規従業員	2. 非正規従業員(フルタイム)	3. 非正規従業員(短時間)
4. 派遣社員・契約社員	5. 自由業、自営業(家族従業員を含む)	6. 会社などの役員
7. 家事専業・家事手伝い	8. 学生	9. 働いていない
10. その他		

F7 あなたには、お子さんがいらっしゃいますか。(〇は1つ)

1. いる 2. いない

F7で1に〇印をつけた方におたずねします。

F8 あなたの一番下のお子さんは、現在次のどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

1. 乳児・就学前の幼児 2. 小学生 3. 中学生以上の学生 4. その他

F9 あなたが現在生活しているご家庭の家族構成をお答えください。(〇は1つ)

1. 単身世帯(あなただけ) 2. 1世代世帯(夫婦だけ)  
3. 2世代世帯(夫婦と子、夫婦と親、親と子など) 4. 3世代世帯(祖父母と夫婦と子、親と子と孫など)  
5. その他

F10 あなたは、環境を変える(転職・転居等)予定がありますか。または、将来的に環境を変えたいと考えていますか。(〇は1つ)

1. 環境を変える予定である 2. 予定はないが将来的に環境を変えたい  
3. 予定もない将来的に環境を変えたいとも考えていない 4. 未定、わからない

F11 あなたのお住まいの地域はどちらですか。(〇は1つ)

1. 北勢地域 (桑名市・いなべ市・四日市市・鈴鹿市・亀山市・木曾町・東員町・菟野町・朝日町・川越町)  
2. 伊賀地域 (伊賀市・名張市)  
3. 中南勢地域 (津市・松原市・多気町・明和町・大台町)  
4. 伊勢志摩地域(伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町)  
5. 東紀州地域 (尾鷲市・熊野市・紀北町・御祭町・紀宝町)

～質問は以上で終わりです。ご協力いただき、ありがとうございました。～



令和6年度  
男女共同参画とジェンダーギャップに関する  
県民意識調査報告書

発行:三重県  
監修:四日市大学教授 三田泰雅

三重県環境生活部ダイバーシティ社会推進課  
〒514-8570 津市広明町13番地  
電話 059-224-2225  
FAX 059-224-3069